ファミサポ通信

令和4年11月発行　No.35

利用時間と謝礼の基準

依頼会員…市内に在住・在勤・在学で生後57日目～小学6年生までのお子様の保護者の方
提供会員…市内に在住の20歳以上の方で、心身共に健康で積極的に援助活動ができる方
両方会員…依頼会員、提供会員両方を兼ねる方
産前産後会員…市内に在住し家事・育児などが出来る家族がいない妊娠届出以降の妊婦～産後56日（多胎児の場合は6か月）までの方　　利用時間は午前9:00～午後6:00までです。

	利用時間	謝礼額（子ども1人当たり）
平日（月～金曜日）	6:00～7:00	1時間あたり 900円
	7:00～19:00	1時間あたり 700円
	19:00～22:00	1時間あたり 900円
土日祝 年末年始（12/29～1/3）	6:00～22:00	1時間あたり 900円

ひとり親等ファミサポ利用料の助成があります。
（所得制限あり・詳細は市役所こども保育課へ　☎043-484-6415）
車で送迎の場合には、1kmにつき30円の交通費が別途必要となります。
自動車保険・・・車の事故についてはセンターが加入している「移動サービス専用自動車保険」にて対応します。
補償保険制度…援助活動中の万が一の事故については「地域子育て補償保険」にて対応します。
（どちらも保険料はセンターが負担します。）

サポート時のコロナ対策について

★お子さまも、ご協力をお願いします。

1. サポート前日からの検温・体調確認
2. マスク着用　3. 手洗いの徹底
4. 手指消毒　5. 換気（車内も含む）
6. 支援日誌に体調確認を記入　今後も継続いたします。

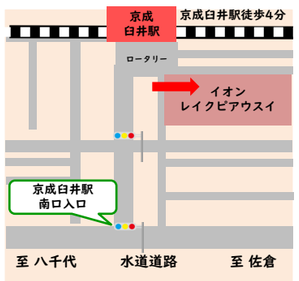
ご家族のかたも含め、感染症発生による休園、休校、休所の際にはサポートはできません。予めご了承ください。

編集後記

近くの人々に頼ろうと思うこと、そして地域の人に受け入れてもらうのは、パパやママ、お子さまにとってもとても大切なことです。直ぐに歓迎してもらえないかも・・・と不安に思うこともあると思います。
でも一歩踏み出し、少し時間をかけて様子を見ることで、サポーターさんとも徐々に親しみが生まれ、安心して受け入れてもらえていることが分かるようになるはずです。そうすればいつの間にか、お子さまだけではなく、パパやママたちとも心の距離がグッと近づき、みんなの笑顔につながることもあるのです。
周囲の温かな気持ちに包まれ、人からの好意や優しい気遣いを受け取り、ぬくもりに触れることで忙しい日々に、ふわりとした優しい時間を感じてくれたら嬉しいです。

佐倉市ファミリー・サポート・センター
受託団体 ＮＰＯ法人ワーカーズコープ

住 所　〒285-0837　佐倉市王子台１－23
　　レイクピアウスイ3階（イオン臼井店）
電 話　０４３－４８８－１２７０
ＦＡＸ　０４３－４９７－６７２２
開所時間　月 ～ 金　午前９時～ 17 時
休業日　土日祝・年末年始
E-mail　famisapo@sakura.roukyou.gr.jp
ＨＰ　http://sakura.roukyou.gr.jp/famisapo



地域のみなさんの力で子育て世代を支えてみませんか？

あなたの力が必要です！

親たちが助けて欲しいとき、困ったときに力を寄せてくれる、
地域の心強い援助者が、ファミリー・サポート・センターのサポーターです。

地域の子どもたちの成長を一緒に見守り、一緒に喜んだり、時には心配したり
ささやかなことでも誰かの力になれたときは、とても嬉しい気持ちになります。
時間に追われながら過ごしている世代を、支えてみませんか？

みんなで子育て！大変なときは素直な心を伝え、思い切って周りの人に頼りましょう。

子育てを一人で背負い、頑張っていませんか？
子育ては、みんな誰でも周りの人たちに頼ってするものです。

心が辛くなる前に、周りにいる身内のかたや、地域のサービス、
ファミサポにSOSを出し、地域の温かい皆さん、そして
サポーターさんの優しさに頼り、一緒に子育てをしてみませんか？

佐倉市ファミリー・サポート・センターとは？

佐倉市の子育て支援事業であり、子育てを地域でお手伝いする相互援助の組織です。

ファミリーサポートセンターは、地域において、「子育てのお手伝いをしたい」「子育ての手助けをしてほしい」人達が会員となり、会員同士で相互に援助活動を行うものです。　お気軽にご相談ください。　電話 ０４３－４８８－１２７０

ファミサポを利用しています！

習い事の送迎で、利用させていただいております。送迎の際は、いつも子供では持ちきれない荷物を代わりにお持ちいただき、きちんと玄関まで送ってくださいます。
こちらの都合で、ご相談させていただくことも快く応じてくださり、助けていただくことが多いです。
送迎の中で、「こうしてはどうか？」と、ご提案してくださることもあり、気付かされることも多いため、ありがたいです。
これからも安心して、サポートの依頼をさせていただこうと思っております。　依頼者　Sさん

空手道場に学童→道場→自宅へと一日2回、送迎しています。道場に通う女の子も多くて驚きました。

サポーターYさんとRくん

明るく元気で、病気に負けない体を作って過ごしてください。
私も頑張って、2人を安全に送迎します！

サポーターYさんとKくんこさん

自分の孫は、もう手が離れてしまいました。Hくんは、とても素直で可愛い。楽しくサポートしています！

サポーターMさんとHくん

いつも子どもたちを皆さんに可愛がっていただき、とても嬉しいです。
保育園の送迎時、きっとわがままも言ったりしていると思うのですが・・・。
ファミサポの皆さんが いらっしゃらなかったら私だけでは子育て出来ていませんでした。
いつも、体調も気にかけていただき大変感謝しております。　依頼者　Mさん

小学校に入学した当初、上の子の登校に付き添っていただくサポートで、利用しておりました。
下の子の幼稚園の送迎時間とのズレがあり悩んでいましたが、ファミサポさんを利用することで解決出来ました。非常に助かりました。
おかげで今は、一人で登校できています。
依頼者　Sさん

ご入会について

登録料、年会費は無料です。

WEB入会説明会 → 確認フォーム

現在、コロナ感染拡大防止の一環として、集団での入会説明会は行っておりません。
WEB入会、来所入会をご利用ください。来所入会を希望される方は事前にWEB・電話でのご予約が必要となります。
★来所入会持ち物・・・印鑑、身分を証明できるもの（免許証、保険証、マイナンバーカード等）

サポーターの研修内容について

区分 1．7．8　保育の心・子どもの世話・遊び

＊WEB研修あり

「子どもが幸せであるように、親が親であることの幸せを実感できるように。」サポーターとして丁寧に向き合う姿勢を持って行動することも大切です。

年齢に応じた遊びの内容について理解し、実際のサポートで使える楽しい製作も行います。

保育士・伊藤幸子さん

区分 2　心の発達とその問題

＊車椅子・視覚障害体験あり

障害を持つ子どもとの関わりかたと預かる時に注意すべきことについて。
不思議に思う行動は、その子の立場に立ってやってみると、分かることがあります。

障害があっても、子どもに望ましい育てかたは共通です。「安定・安心」が守られていること。
本人の思いを大切に・・・

言語聴覚士・野島洋子さん

区分 3　身体の発育と病気・看護の基礎知識

「子どもは違っていい」と良く言われるが、そもそも人は皆違う。「最近笑わなくなったな」「いたずらが増えたな」など、いつもと違う変化は表情に出てきます。

また現在、働く人が抱える心の問題については、「その状態も自分と向き合う必要な、神様がくれた大事な時間」として、乗り越えることができるよう相談に乗っています。

看護師・菅野由喜子さん

区分 4　救急救命

＊必修項目　＊WEB研修あり

特別な資格がなくても、誰にでも行えるのが応急手当です。
全て終えると、「受講証明書」が発行されます。

コロナ禍の中、団体向け救急講習が一時中止となっているため、消防庁の「応急手当WEB講習」の受講をお願いしています。
★事務所で受講することも可能です。

区分 5　安全・事故・産前産後支援

＊必修項目

事故が起きないよう、目をつむるではなく目を光らせつつ「環境を整えると事故はこんなに減るよ」ということが、重要です。
サポートをする上で、事故について学ぶことは「こわいこと」ではなく、「大切なこと」なのです。

子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう！

保健師・マクドエル綾子さん

区分 6　交通安全指導

佐倉市管内の交通事故事例について。
信号機のない横断歩道の事故は多いです。
横断歩道や一時停止線では「停まること」を心がけ右からも歩行者は来ると思って、運転して欲しい。
渡る側の人も、渡る意思表示や左右確認をしましょう。

飲酒運転撲滅運動にも取り組んでいます。

佐倉警察署・交通課・警部補　村上正倫さん

区分 9　子どもの栄養と食生活

＊エピペントレーナー体験あり

作り手に感謝の気持ちを持つこと。
自分が食べた食器を下げたり食べるマナーを覚えることも必要です。
お食事付きでお預かりしたお子さまには、マナーとして伝えていきましょう。

食物アレルギーを持ったお子さまも増えています。
事故を防ぐための努力は、100%しましょう。

栄養士・阿部昭子さん

区分 10　こども家庭課・児童虐待

ファミサポは家庭に入ることができる。サポート中に「極端に不潔ではないか？」「洋服のサイズや季節感が合っているか？」等、細かいところに目を向け、また子どもとの会話の中でも違和感を感じることができます。

このことは児童虐待の早期発見、早期対応に繋がり更に家庭に風を通すことは、防止の上でも重要です。

佐倉市役所・こども家庭課・岩橋一樹さん